

令和3(2021)年度 【美術I】

68 新潟県立高田南城高等学校

単位数	必修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
2	選択必修	6	8	なし

教科書	学習書・他教材
高校生の美術1 (日本文教出版)	なし

学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生涯にわたり幅広く美術を愛好する心を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

学習計画

学習項目	学習内容	試験範囲
1. 絵画 ・鉛筆デッサン 2. 彫刻・鑑賞 ・彫刻作品の鑑賞 3. デザイン ・色彩について	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサンでリンゴを描く。 ・身近な彫刻作品を探して鑑賞する。 ・色相環を作成して色彩の知識を学ぶ。 	テストなし
4. 絵画 ・様々な画材 5. 美術史 ・美術様式の調査 6. 絵画 ・自画像の制作	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆以外の画材で静物画を描く。 ・美術の歴史について調べてまとめる。 ・自分の顔を描く。 	テストなし

評価基準と評価方法

評価は、次の観点から行います。

①美術への関心・意欲・態度	②発想や構想の能力	③創造的な技能	④鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術作品を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

テストは行いません。提出されたレポート(報告課題)の作品としての完成度と努力のあと、反省と感想の記述内容、またスクーリング時の制作への取り組み方などを評価します。

授業の進め方・課題・提出物など

授業はレポート(報告課題)の内容に沿って進めます。極力全てのスクーリングに出席することが望ましいです。スクーリングには、レポートと課題用紙、教科書、筆記用具を必ず持ってきてください。本年度はレポートと課題用紙の冊子が別になっています。両方また、出席する前にあらかじめ学習資料を読み、課題に合わせて使いたい道具や画材を用意してください。レポートは各課題ごとの提出期限をよく確認して期限内に提出すること。期限を過ぎたものは減点となります。

担当者からのメッセージ

上手に描くことや作品をつくること自体が目的ではありません。制作を通して、ものや世界や自分を見て知ることが大切です。苦手な方も自信を持って課題に取り組んでください。ただし、作品は必ず丁寧に仕上げてください。